

## 納税のおかげで・・・

所沢市立中央中学校

三年 佐原 桃菜

私たち国民には、憲法で定められた三大義務があります。その一つが納税です。私はまだ中学生で税金を納めてはいませんが、将来大人になったときには、社会の一員としてしっかり納税したいと考えています。

今の生活を振り返ると、税金のおかげで支えられていることがたくさんあります。毎日安心して学校に通えること、教科書が無償で受け取れること、道路や公園が整備されていること。さらに、部活動で使っているグラウンドや体育館も、整備に税金が使われていると聞きました。私はソフトボール部に所属しています。毎日練習できる環境があるのも、多くの人の税金のおかげだと気づきました。

中学二年生のとき、練習中に腰を痛めて病院に通ったことがあります。しばらくは練習に参加できず、見学するだけの日々が続きました。仲間も真剣に練習していて、一生懸命に努力している姿を見ると、「自分だけが取り残されている」と感じました。その頃の私は、まだソフトボール選手になることを本気の夢として描いていたわけではありません。ただ「好きだから続けている」という気持ちに近かったと思います。しかし怪我をして初めて、ソフトボールが自分にとって大切な存在であ

ることに気づきました。思うように動けない悔しさはありましたが、病院で治療を受けられたおかげで回復し、再びプレーできるようになりました。医療費の一部を税金が支えてくれていると知り、改めて税金のありがたさを実感しました。

その経験を経て、私は将来ソフトボール選手になりたいと強く思うようになりました。自分が夢を追いかける姿を通して、子供たちに「頑張ればできる」という勇気や希望を届けたいです。そのために今は全力で練習に取り組んでいます。選手として活躍するだけでなく、社会の一員として責任を果たすことも大切だと思います。その一つが納税です。

これまで私が受けてきた支えを、今度は自分が未来の子供たちのために返していきたいと思っています。私が納めた税金が、教育や医療、スポーツ環境の整備などに役立ち、次の世代の子供たちが夢を追いかけられるようになることを願っています。自分がもらった恩を未来につなぐために、私は将来、納税を大切にしていきます。